

ATAC 会長就任のご挨拶

財団法人大阪科学技術センター
 ATAC 会長 齊藤 紀彦

ATAC (Advanced Technologist Activation Center) は、財団法人 大阪科学技術センターの創立30周年を記念し、中堅・中小企業振興事業の一環として、1991年4月に設立され、来年には20周年を迎えます。この節目に会長に就任いたしましたことを縁と考え、当センターおよびATACの発展の為に努力いたしたいと思っております。

ATACは名前が表す通り、考え・行動する先端的技術コンサルタント集団で、企業OBのグループによる活動が全国的な広がりを見せている中、今でも、この種の活動のモデルであり、先例であると高い評価をいただいております。現在、メンバーは豊富な経験に裏付けされた独自のノウハウを保持する民間企業の技術系OBや事業経営者・管理職OB等27名より構成されております。

活動内容は、主として中堅・中小企業において、それぞれの企業が抱える多種多様な技術や経営の課題に対応し、その企業と一体となり、豊富な知識・経験・人脈を生かし、実践的・具体的にチームを組んで課題解決に当たっております。今日までに約700件にも上るコンサルティングの契約を締結し、顧客企業の技術や事業成果につながる実績を上げております。

近年では、大型地震や新型インフルエンザなどの大災害に企業が見舞われた際に、事業を早期に復旧させるBCP(事業継続計画)に着目し、BCPに関する講演会を、パートナー機関として参画している大阪信用金庫が拠点の「だいしん地域力連携拠点(経済産業省施策)」と協力し開催するとともに、中堅・中小企業のBCP策定支援を実施しております。

また、全国の同種の機関によびかけ、「OB活用全国会議」を開催し、各機関が抱える課題等の意見交換を行うとともに、全国ネットワークの構築を進めております。

その他、立命館大学でアントレプレナー講座を実施し、「自立的で創造的な人材」、「アントレプレナーシップに満ちた人材」の養成の一助を担っております。

現在、中小企業の業況は、持ち直しの動きが



見られますが、業種・規模によってはその動きに違いがあり、デフレや円高など、先行きへのリスクがある状況です。

こうした環境の中、ATACは、高い技術への貢献と企業の社会的責任を念頭に置き、コンサルティング業務、セミナー開催・講師派遣業務、書籍刊行業務等を通じて、関西や日本の産業の基盤である中堅・中小企業の発展に資することを目的に、更なる発展に向けて邁進していく所存であります。皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

齊藤紀彦氏 略歴

- 昭和45年3月 東京大学大学院 工学系研究科 電気工学専門課程 修了
- 昭和45年4月 関西電力株式会社入社
- 平成15年6月 同社 常務取締役
- 平成17年6月 同社 取締役副社長(現職)
- 平成17年7月 (財)大阪科学技術センター会長 就任
- 平成22年5月 ATAC会長 就任